

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月20日

事業所名 こぼんはうすさくら 草加両新田教室

保護者等数(児童数) 19 回収数 18 割合 94.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2		・面接時等、たまに伺いますが、いつもきれいにしています。 ・十分に広いスペースを確保して頂いていると思います。 ・何度かお邪魔していますが、十分なスペースがあり、清潔感があります。	児童さんに合わせて部屋の模様替えを行い、児童さんの活動スペースを広く取るよう工夫しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18			・先生方も、とても丁寧に対応して頂いていると思っています。 ・公園や児童館で見かけた時も安全な配置だと感じます。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10		3	・注目してみたことがないので分かりません。	・階段に手すりがあり、のぼりおりが大変な低学年の児童も自主的につかまり使用している。室内に段差はほぼなく、フラットなスペースとなっている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18			・普段から困っていることを相談しやすく、適切な計画書を作成して頂いています。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	2		・月間の予定表もあり、外での活動や制作など、とても充実しています。 ・野外での食事は大丈夫かと思えますが、皆での調理はまだ心配かなと思います。	・スタッフの特技を活かしたプログラムを行う事で、スタッフも児童さんと一緒に楽しめる工夫をしています。また社会経験の蓄積をコンセプトに、様々な場所に出掛けるようにしています。 ・楽しい、できた！につながるよう工夫していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	7	5	・先日は劇を観に行かせて頂き、楽しく過ごさせて頂きました。 ・児童館や公園などで会う事はあるかと思えます。	・コロナ禍で交流が難しい部分はありますが、近隣の方が参加できるようなこぼん祭りの開催等を検討していました。コロナが落ち着いたら近隣の方との交流を持てればと考えています。 ・公園や外出先で一般の方と関わることもある。同年代のお友達から『仲間に入れて』と言って頂いたり、『一緒にあそぼう』と声掛けできる児童がいるのは非常に良い雰囲気や社会性がついていると感じる。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18			・たくさんノートにその日の事を記入されていて、写真販売もあるので安心できます。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	15	2		・必ずその日の事を口頭でも伝えて頂きます。困ったらLINEや電話でも相談します。 ・送迎時にも、いつも丁寧に説明して頂いて助かっています。ありがとうございます。	・保護者様に様子や雰囲気が伝わるように内容や表現を工夫します。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1		・面談で色々とお話させて頂きました。 ・これは最初に比べて密にできるようになってきたと思います。ありがたいです。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	7	8	・コロナもあるので、どちらとも言えません。たくさんの方が来られると思うので困っている事をアンケートを取り、それについて他の保護者の皆で回答するのはどうですか。 ・コロナ禍のため、保護者様にお会いしませんが、毎月の写真でみながら子供と話を聞いています。 ・毎年企画して頂いている運動会の様子を可能であれば見てみたいなと思っています。	・オンライン保護者会やイベントの上映会等を検討していく ・コロナの様子をみて保護者の方にアンケートをとり、ご意見を伺って回答する。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1	3	・意見や質問、気になることはすぐに対応して頂いています。 ・良く聞いて頂いております。	・苦情などを受けた場合、管理者・児発管に速やかに報告、対応できる体制を整えています。

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18			・LINEもあるので、仕事をしても相談しやすいです。	・LINE公式アカウントを開設し、より相談や申し入れを行いやすい環境を整えました。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17		1	・毎月お便りでお知らせ頂いています。	・ホームページの更新頻度が下がってしまっていますので、更新頻度を上げ、活動内容がより分かりやすくなるようにします。
	14	個人情報に十分注意しているか	18			・こちらのお願いにも快く対応頂き感謝しております。	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18			・感染症はチェックリストの記入もあり、しっかり対策されています。	・防犯・感染症対策のマニュアルを策定
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18			・予定表に毎月組み込まれています。	・防災訓練はより細かい設定や、スタッフが本番を想定した動きを行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16		2	・朝も嫌がることも全くなかった後いつも機嫌が良いです。 ・休みの日でも行きたいと言う程楽しみにしています。 ・楽しみにしています。 ・行かない日に「今日行きたかったな…」と言う時がある程、楽しみにしているようです。いつもありがとうございます。	・今後も楽しく通っていただけるようにプログラム内容を工夫し、室内・屋外活動をバランスよく活動していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	18			・スタッフの方が全員話しやすく子どもも楽しく通っており、不安な事が全くなく、とても満足しています。 ・様子を丁寧に説明頂いております。子供に寄り添って対応していただき、皆様には大変感謝しております。	・今後も原重に寄り添った対応をしていく。小さな発信を見逃さないようにします。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月20日

事業所名 こぼんはうすさくら 草加両新田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・児童の安全や活動の幅を広げる為に、物の配置や動線の見直しを定期的に行っている	
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1	・コロナへの配慮から食事時の配置を最小限にしたり、密を防ぐ配慮をしている また、過剰支援を防ぐよう活動や人数に合わせて柔軟に配置している。 ・集団療育に必要な児童指導員を配置できている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	・階段で滑らぬよう、滑り止め等を貼っている	・教室が2階にある為、バリアフリーが難しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		・定期的に会議を行ったり、日々の終礼で個々の気づきやご家庭からの情報共有をしている。 ・月に4回のミーティングを実施する事でスタッフからの意見を吸い上げやすくしている。	・プログラム案の作成・確認をスタッフ同士で行なうことで自主性を育んでいく。 ・振り返りの時間や会議での要約力を身につけることで効率化を図っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		・ご家庭から頂いているご意見やご要望を共有し、思いを受け止めながら出来る限り支援に反映させている ・評価表の実施と共に、普段から保護者の声をスタッフ間で共有できている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		・ボランティアや本部の方から意見を頂いているが、まだ足りていない。コロナ情勢に配慮しながら第三者からの目線、意見を引き続き求めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・児童に合わせた研修を受講したり、報告書を共有している ・オンライン研修に参加したり、動画で共有する等、研修参加の機会は設けられている。また四半期に一度全体研修を実施し始めた。	・コロナ禍でオンラインでの研修が多い今だからこそ、様々な研修を受けられる環境を整えていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		・お聞き取りシートや面談で頂いた思いを基に、カンファレンス等で情報や支援について共有し、見直しや立案を行っている。 ・面談を行い保護者のニーズを伺い、毎月のカンファレンスでアセスメントの分析を行う。二つを合わせた支援計画を作成している。	・保護者のニーズをしっかりと把握し理解していく必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		・本部研修で用いられているツールを使用してアセスメントを取り、支援計画に活かしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	・プログラム案を作成し、複数で共有・確認・見直しをしやすいシステムにしている ・プログラム案を作成し、その情報も共有しあい、日々のプログラムにのぞんでいる ・当日のプログラム担当を中心に、チームで内容を考えられるようになってきた。	・過去のプログラム内容の実施経過や反省点を踏まえ、より適切な支援になるように立案・実施していく。 ・チームで確認しあえるシステムになったので密度の濃いものにしていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・週毎のバランスや曜日毎の児童さんのニーズに合うように、また活動の種類が偏らないように工夫している ・スタッフの得意分野をプログラムに組み込み、発展しやすいようにしている。また随時新しいプログラムを組み込むようにしている。	・児童さんやご家庭のニーズに、より合わせたプログラムを目指してお聞き取りをしていく ・他の事業所の内容等、様々な場所からヒントを得て、更に児童さんに楽しんで頂けるプログラムを組み込んでいく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	・静と動、課題やプログラムと自由に遊ぶ時間等のバランスを取る事で、ご利用時間に合わせた支援を心掛けている ・平日は室内活動が中心。週末や長期休暇は外出が中心となり、活動にメリハリが付けられている。	・受験や就労をひかえている児童さんに対し、個別課題を設定し支援していく。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動を中心としているが、保護者のニーズを組み込み、適宜個別活動も支援計画に組み込んでいる。(体幹を鍛える。手先の強化等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフが個別活動の計画に対応できるように、活動案が一目でわかるツールを用意する。</li> <li>・個々の特性に配慮しつつ、楽しく集団活動に参加できるような支援計画を作成して参ります。</li> </ul>
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼やプログラム案を活用。当日の児童さんに合わせて柔軟な対応が出来るようにスタッフ間で情報を共有している</li> </ul>	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼でプログラム案のねらいや配慮、実施状況が適切であったか、また改善内容を意見交換することで次に活かせるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム案の内容が児童さんの姿にあった支援になっていたかを振り返り、次の支援に繋げていく。</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ファイルに経過表を入れ、記録を蓄積できるように環境にしている。</li> <li>・プログラム案に実際の所要時間や結果、改善点を記録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経過表の保管の流れを変更し、いつでも記入できるよう環境を整える。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の達成具合や適正に応じて、更新予定月まで待たずに前倒しの見直しの提案やご相談をさせて頂いている</li> <li>・半年に一度カンファレンス内でモニタリングを行い、計画見直しについての検討を行っている。</li> <li>・モニタリングシートを共有し、支援改善について皆で考えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始間もない児童さんに関しては、モニタリング期間を短くして計画内容の見直しをこまめに入れていく</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭と相談させていただきながら、幅広い活動に配慮した計画作成を行い支援を実施している</li> <li>・教室のコンセプトである『社会経験の蓄積』に基づき、基本活動を複数組み合わせ合わせた内容で支援を行っている。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフのアセスメント情報を吸い上げた管理者・児発管が会議に参加している。</li> </ul>	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童さんの状況に応じて、ご家庭に確認したうえで学校との連絡や情報交換を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への挨拶回りを行うなど、積極的に交流や状況把握の機会を作っていく。</li> <li>・先生からの情報を得る為に、教室での様子を積極的に伝えて、学校での様子を聞きやすい状態にしている。</li> </ul>
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に交流がある支援員さんや施設からは、情報を頂きながら計画の立案や支援に活かしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流のない施設もまだ多いので、積極的に連絡を取り情報共有に努めたい</li> <li>・就学前の幼保との連携は取れていない事が多い。今後は意識的に情報を集めていく</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の連合会に加盟し、定期的に実施されている研修に参加している。</li> </ul>	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園に出掛けると一般利用の児童さんと一緒に遊ぶ機会があり、分け隔てなく仲良く遊べている</li> </ul>	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3			

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に保護者の方へ様子をお伝えしたり、連絡帳やコミュニケーションツールを利用して、保護者とは常に連絡を取りやすい環境整備を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ファイルの経過表へ積極的に書き込みをする事や、毎日確認して支援にあたる事を徹底していきます</li> <li>・送迎時にお会いできないご家庭との情報共有を積極的に行います</li> </ul>
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の保護者に対してはペアレント・トレーニングに近い取り組みを行っている。</li> <li>・保護者へ市区町村から案内されたペアレント・トレーニングの案内を送付している。</li> <li>・面談や送迎時にご家庭の様子を伺い、対応方法について提案という形でお伝えさせて頂いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングについてスタッフが理解を深めていく。</li> </ul>
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>1</li> </ul> 契約時に説明。毎月の支払いの際に明細書もお渡しする等、情報を公開している。	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談や送迎時にご家庭の様子を伺い、対応方法について提案という形でお伝えさせて頂いている。</li> <li>・ケースによっては、支援員さんや他施設にも情報共有する。</li> <li>・送迎時に頂いた判断の難しい内容に関しては、管理者から改めて連絡を入れる等の対応を取っている。気軽に相談できるようコミュニケーションツールを利用して、保護者とは常に連絡を取りやすい環境整備を行っている。</li> </ul>	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の連携を支援する活動は特に行っていない。コロナが落ち着いたら保護者会の実施やオンライン保護者会等も検討していく。</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や申し入れに対しては管理者・児発管に報告・連絡の上、管理者が対応する形を取っている。対応が遅れないよう報告・連絡しやすい環境整備を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時などにご相談頂いた内容に関しては、個人の意見に偏らないように配慮して参ります。</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度写真入りのお便りを作成、内容を見て頂いている。また活動時に写真撮影を行い、写真を閲覧・購入できるシステムを導入している。</li> </ul>	
	35	個人情報に十分注意している	8		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の特性に配慮した分かりやすい環境を整えています</li> </ul>	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが落ち着き次第、地域交流の一環としてお祭りの開催等の企画を検討していく。</li> </ul>
非常時等の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1</li> </ul> ・マニュアルの策定、緊急時の避難場所は保護者に周知を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室にあった内容に更新することで、さらなる安全・安心につなげていきたい</li> <li>・防災リュックの中身、避難誘導の方法の再検討。</li> <li>・被災時はできているが感染症・不審者対策はできていない。対応としてスタッフの共通理解をしていきます。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震や火災発生を想定した訓練は毎月プログラムに組み込んで、児童さんと一緒に実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づきや反省を活かし、具体的な対応策を考え実施していく</li> <li>・感染対策の訓練の実施</li> <li>・防災リュックの中身や備蓄品、避難誘導の方法の定期的なチェックと改善をしていく</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容を基に、個別対応にならないような配慮を心掛け、声をかけ合っている。</li> <li>・一年に一度、全社員を集めて虐待防止研修を行っている。フィードバックの為、参加者全員が研修報告書を作成している。</li> </ul>	

対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に過ごしていただくための配慮として、具体事例をご家庭と共有しながら、必要に応じて記載している。</li> <li>・飛び出し等で危険回避の為に身体拘束が必要であった場合でも、送迎時に保護者に報告している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら訴えが出来ない児童もいるため、職員間での確認を徹底する。</li> <li>・身体拘束が必要な場面についてスタッフ間で意思統一を図っていく。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー対応も全スタッフが確認し、実行している。</li> <li>・アレルギーに限りませんが服薬介助に関する依頼書が必要に応じてご記入頂いております。</li> <li>・食品庫にはアレルギーのある児童の情報を記載しております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時のアセスメントにおいて確認しているが、定期的な更新が必要と現在は面談毎に再確認しております。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼時に毎日ヒヤリハットを作成している。また解決策の話し合いを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じような事例が繰り返されている事がある。常に安全を意識した支援が行えるよう声をかけ合う必要がある</li> </ul>